

北立誠地区の教育児童施設の再編計画について

1 現状と課題

北立誠地区の本市の教育児童施設には、津市立北立誠小学校、北立誠地区放課後児童クラブたつの子会及び津市立北立誠幼稚園があり、各施設の課題に対して、地域や保護者の方々から改善を求める声が寄せられています。

(1) 北立誠小学校

ア 教室施設

児童数の増加に伴い学級数が増加しており、今後も特別支援学級の増設や学級編制基準に関係する児童数増のため、教室が不足することが考えられ、喫緊に新たな教室の整備を必要としています。

イ コミュニティルーム

平成11年度から地域自治会に開放しているコミュニティルームがあり、自治会等の各種団体が常時利用しています。

(2) 北立誠地区放課後児童クラブたつの子会

北立誠小学校の児童数の増加、共働き家庭の増大や就労形態の多様化等に伴い、利用児童数の増加による施設の狭あい化への対応を早急に図る必要があります。

(3) 北立誠幼稚園

現在は5歳児3人のみで保育を行っていますが、平成30年9月に平成31年度新入園児を募集したところ、応募者がなく、同年度は、4歳児、5歳児ともに0人となり、今後の在り方について年度内に方向性をまとめていくことが不可欠です。

2 課題解決に向けた検討

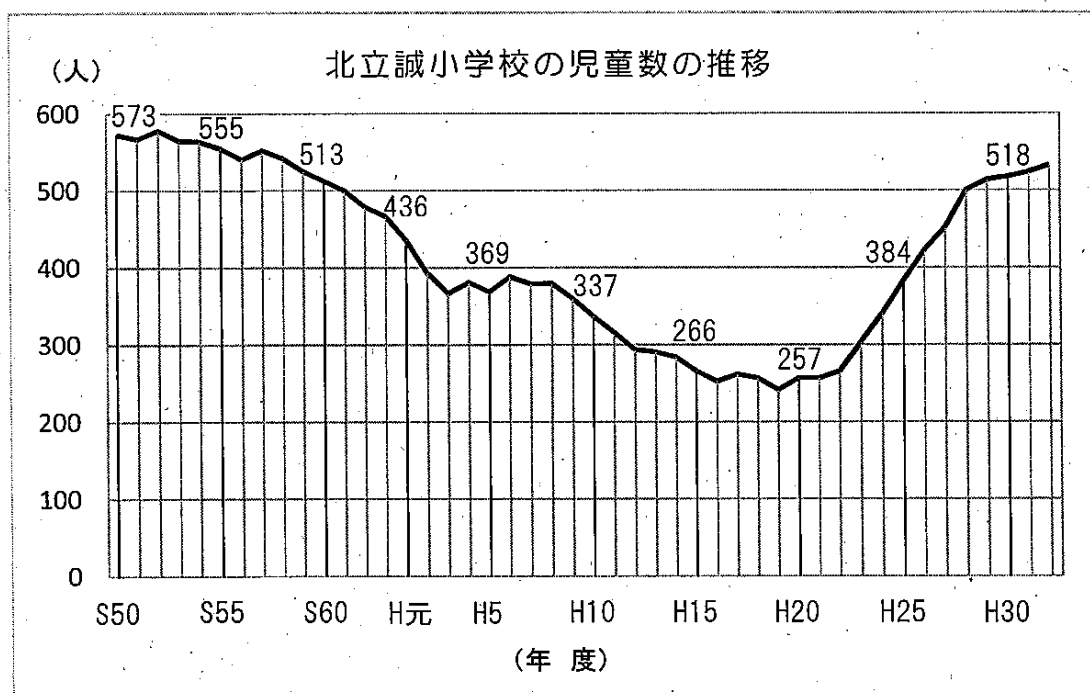
(1) 北立誠小学校

現校舎は、昭和48年に建築され、昭和50年代前半、児童数は550人を超え、学級数は最大17学級ありましたが、それ以降、児童数は減少し、平成19年度には最も少ない242人、11学級となりました。しかし、校区内に新興住宅地が造成されたこと等の理由により、その後10年の間に再び児童数が2倍以上に増加し、これに伴い学級数も約2倍になりました。

このため新たな教室の確保として、2室ずつあった理科室、音楽室の各1室及び資料室を教室に転用し、その対応を図ってきました。

また、特別支援学級については、1教室を3つに仕切り、更に準備室も使って、4学級を設置している状況です。

特別支援学級の児童数は増加傾向にあり、今後更なる児童数増や新たな障がいの種別の学級設置も考えられますが、教室に全く余裕がない状況となっていることから、教室以外の部屋を転用する必要があります。



北立誠小学校の児童数及び学級数の推移

年度	2009 (H21)	2010 (H22)	2011 (H23)	2012 (H24)	2013 (H25)	2014 (H26)	2015 (H27)	2016 (H28)	2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (H31)	2020
児童数 (人)	257 (6)	266 (5)	304 (5)	341 (3)	384 (6)	423 (6)	453 (9)	501 (13)	514 (14)	518 (18)	524 (22)	533 (22)
学級数	11 (2)	11 (1)	12 (1)	14 (1)	15 (1)	15 (1)	16 (2)	18 (2)	20 (3)	21 (4)	21 (4)	22 (4)

※ () は内数で特別支援学級在籍児童数及び特別支援学級数。2019年度及び2020年度は推定値

(2) コミュニティルーム

児童数の減少に伴い、教室に余裕が生じたことから、平成11年度に教室を転用して設置され、現在、自治会等の各種団体が会議等で年間100回程度利用されており、コミュニティルームを教室に戻した場合、別の場所へ設置することが望ましいと考えます。

(3) 北立誠地区放課後児童クラブたつの子会

平成6年に北立誠小学校の敷地内に新築した専用施設で運営していますが、近年は利用児童数が増加し、児童1人当たりの専用区画面積は、津市放課後児童健全育成事業の設備及び運営の基準に関する条例で規定するおおむね1.65㎡を大幅に下回る1.14㎡で、非常に狭あいな状況です。

このため、北立誠地区放課後児童クラブたつの子会は、北立誠幼稚園の保育室等を一時的に借用し、現施設と合わせて2か所で保育を行うことにより、保育環境の改善に取り組んでいます。

同クラブは、今後も狭あいの状況が続くため、施設整備について津市公共施設等総合管理計画の下、放課後児童クラブに係る整備指針に基づき検討を行ったところ、北立誠小学校に教室の余裕がないため、近隣の公共施設に整備する必要があることから、隣接する北立誠幼稚園舎内への整備を検討してきました。

施設整備に当たっては、現在、利用児童74人を1支援の単位で運営していますが、同条例において、1支援の単位をおおむね40人以下と規定していることから、2支援の単位で運営するための施設整備が必要になります。

※ 支援の単位とは、放課後児童クラブにおける児童の集団の規模を表すものです。

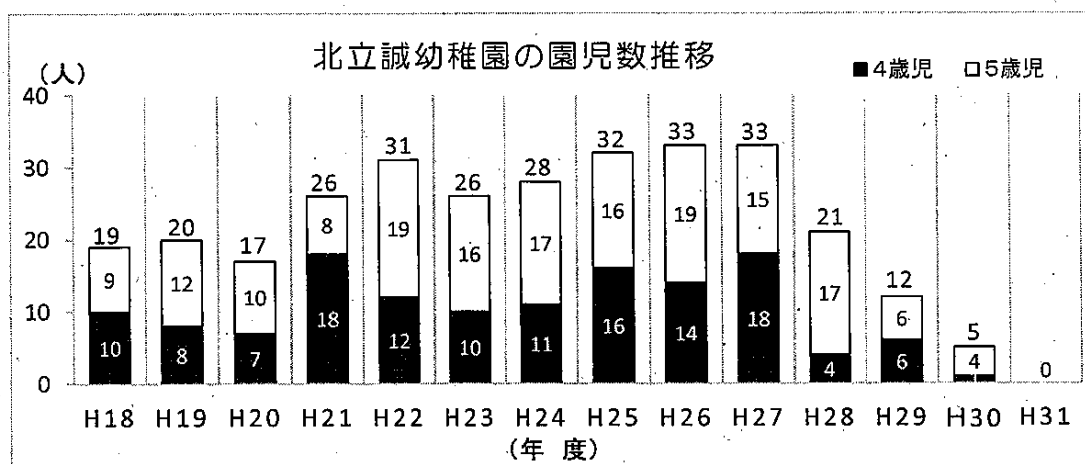
北立誠地区放課後児童クラブたつの子会利用児童数及び児童1人当たりの専用区画面積の推移

年度	2009 (H21)	2010 (H22)	2011 (H23)	2012 (H24)	2013 (H25)	2014 (H26)	2015 (H27)	2016 (H28)	2017 (H29)	2018 (H30)	2019 (H31)	2020
児童数 (人)	53	46	57	63	64	58	70	63	71	74	75	77
面積 (㎡)	1.60	1.84	1.49	1.35	1.32	1.46	1.21	1.35	1.19	1.14	1.13	1.10

(4) 北立誠幼稚園

近年、保育所の需要の増加等から園児数の減少が続き、平成30年4月には4歳児と5歳児合わせて5人となったことから、津市立南立誠幼稚園との合同保育を行い、適正規模の集団の確保に努めてきました。

このような中、平成30年9月に実施した平成31年度入園募集において希望者がなかったこと、また、平成30年9月半ばに在園児の転出があり、平成31年度の進級予定児も0人となったことから、同年度の北立誠幼稚園の入園・在園予定児は、4歳児及び5歳児ともに0人となりました。



北立誠地区に在住する就学前子どもの数は、各年齢ともに70人から90人ほどで、2歳児でおおむね半数の子どもが保育所等を利用しており、3歳児になると、更に全体の83.3%の子どもが、教育・保育施設を利用しています。

北立誠地区には、就学前子どもの施設として、北立誠幼稚園以外に民間の保育所が2園あり、保育利用児の大半は、その2園に集中していますが、教育利用においては、3歳児から、各園の園児バスにより広範囲の民間の幼稚園やこども園への利用がなされている状況です。

北立誠地区在住の就学前子ども就園状況

平成30年5月1日現在

(単位: 人)

		0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計
北立誠地区在住の就学前子ども数		81	70	78	90	74	81	474
保育	公私立保育所	5	30	31	38	33	38	175
	こども園2・3号	1	1	5	6	9	2	24
	小計	6	31	36	44	42	40	199
	保育利用率	7.4%	44.3%	46.2%	48.9%	56.8%	49.4%	42.0%
教育	公立幼稚園	—	—	—	3	2	5	10
	私立幼稚園	—	—	—	28	29	26	83
	こども園1号	—	—	—	0	1	2	3
	小計	—	—	—	31	32	33	96
	教育利用率	—	—	—	34.4%	43.2%	40.7%	20.3%
合 計		6	31	36	75	74	73	295
利用率		7.4%	44.3%	46.2%	83.3%	100.0%	90.1%	62.2%

3歳児において、既に8割以上の子どもが施設利用を行っていることや、その時点では未就園と思われる幼児についても、先般実施された平成31年度園児募集に応募がなかったことから、今後も北立誠幼稚園においては、園児数の確保が難しいと考え、休園等、今後の在り方についての検討を進めてきました。

3 再編計画

以上の検討を踏まえ、次の再編計画を取りまとめました。

(1) 北立誠小学校の教室の確保

元々教室であったコミュニティルームを教室に戻すことが考えられます。

(2) コミュニティルームの整備

コミュニティルームを教室に戻した場合には、次の理由により新たに北立誠幼稚園舎の一部を改修してコミュニティルームを整備することが考えられます。

ア 現在のコミュニティルームの近隣で、地域の方々にわかりやすい場所であること。

イ コミュニティルームとして活用しやすい広さの部屋があること。

ウ コミュニティルームの周辺には、トイレ、給湯室等の設備があること。

(3) 北立誠地区放課後児童クラブたつの子会の整備

現在、一時的に借用している北立誠幼稚園舎に、北立誠地区放課後児童クラブたつの子会の新施設の整備が可能であれば、子どもたちがより安全に利用できることや今後も引き続き地域の子どもたちのために活用できることが考えられます。

北立誠地区放課後児童クラブたつの子会の運営に当たっては、同クラブの運営者の意向もあるため、現施設と北立誠幼稚園の保育室を併用し、2か所で1支援の単位ずつ運営することが考えられます。この場合、放課後児童クラブの運営に係る補助金は、2か所とも受けることができます。

また、新たな施設は、1支援の単位で40人程度の専用区画面積が必要となり、保育室1室の専用区画面積は32人程度であるため、保育室2室の改修整備が考えられます。

(4) 北立誠幼稚園の閉園

北立誠幼稚園は、これまで、北立誠小学校との連携を図りながら、長きにわたって北立誠地区の幼児教育を担ってきました。その中で、平成31年度の園児数が0人となることから、これまでの幼稚園と同様に、一旦休

園期間を設け、今後の在り方についての検討を行うと考えていたところです。

しかしながら、北立誠小学校における教室の確保、これに伴うコミュニティルームの確保、放課後児童クラブたつの子会の施設整備等の課題を早期に解決するためには、やむを得ず、北立誠幼稚園を今年度末に閉園し、園舎を活用することも検討しなければなりません。

なお、この場合、北立誠幼稚園舎は、北立誠地区放課後児童クラブたつの子会とコミュニティルームの複合施設となりますが、教育委員会が全施設を所管し、責任をもって全体の管理を行います。

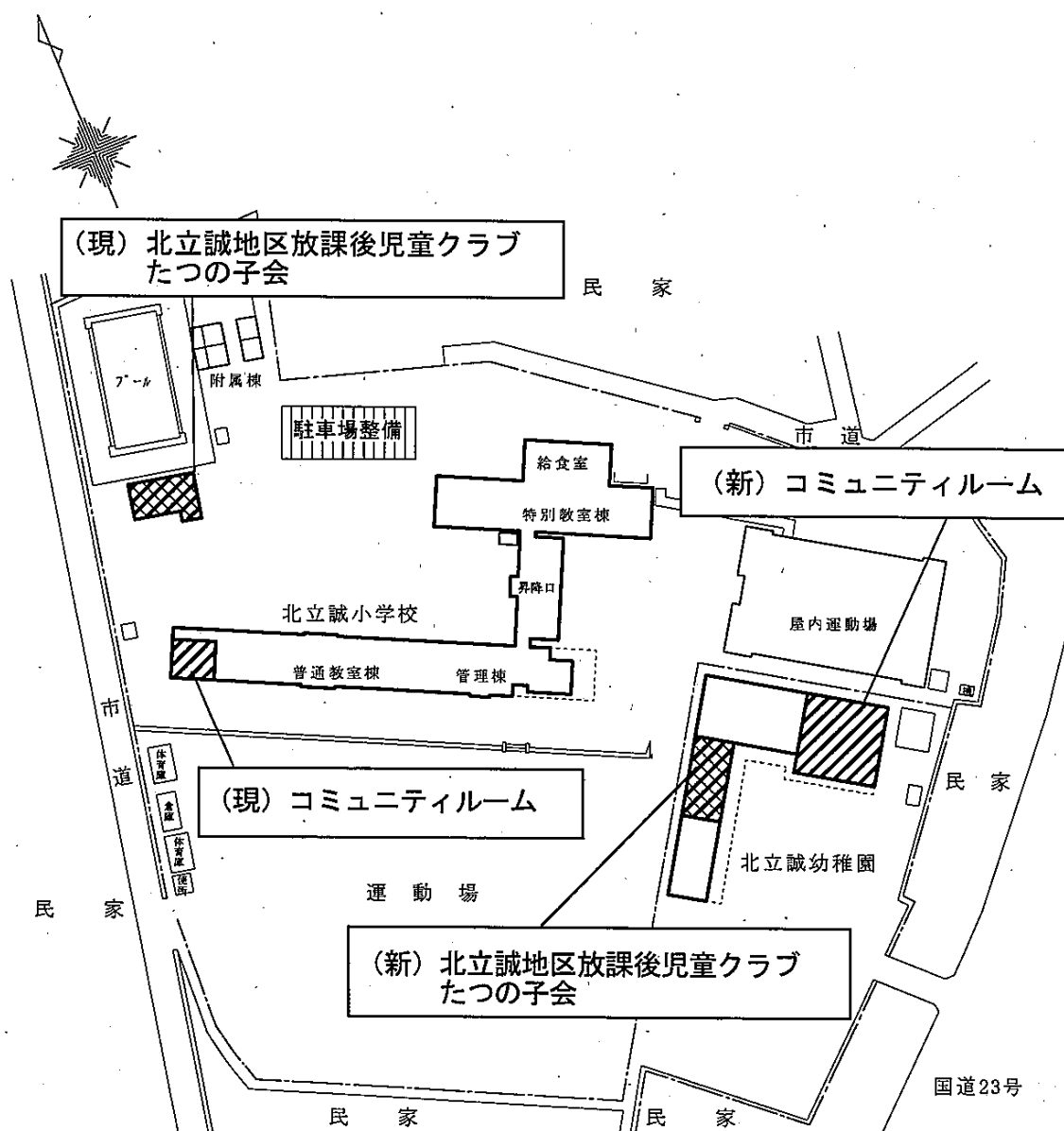
(5) 駐車場の整備

放課後児童クラブの保護者の送迎及びコミュニティルームを活用する地域の利用者の利便性を高めるため、北立誠小学校敷地内の駐車場の増設整備も併せて検討します。

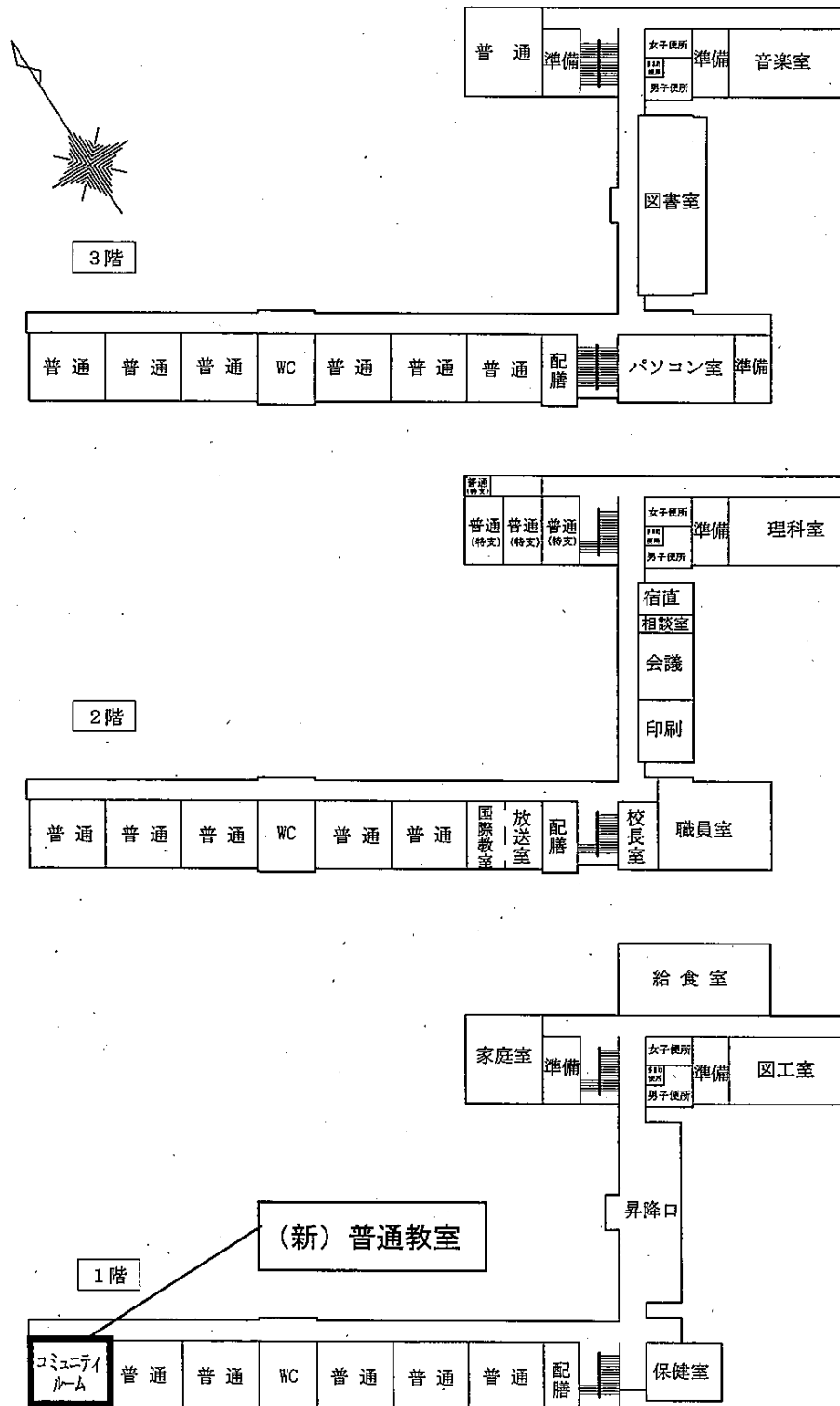
4 今後の対応

この再編計画を地域や北立誠地区放課後児童クラブたつの子会の保護者の方々に対して説明し、意見交換を行い、更に検討を深めます。

北立誠地区教育児童施設 配置図



北立誠小学校 平面図



北立誠幼稚園 平面図

